

Your Field Vol.15

1. 学生ボランティア活動支援室の紹介

利用の仕方

2. まち×学生プロジェクト

六神祭・神大マルシェ・オレンジプロジェクト

3. 2017年度活動報告

4. 公認キャラクターの紹介

『ボラちゃん』誕生秘話

ボラ室公認キャラクター
「ボラちゃん」

神奈川大学

学生ボランティア活動支援室



学生ボランティア活動支援室とは

学外から寄せられたボランティア情報を取りまとめ、来室した一般学生に紹介する機関です。2004年に開室し、教育支援センターの支援を受けながら、学生と外部の団体をつなぐ役割を果たしています。また学生が主体的にボランティア活動を企画運営しています。

8月 夏合宿



スタッフミーティング



5月 合同ボランティア説明会



活動内容

学外から寄せられたボランティア情報を来室した学生の希望にあわせて紹介しています。学生スタッフが常駐しているので気軽に来室してください！ボランティア活動が未経験の方でもスタッフが丁寧に対応するので安心です。福祉・子ども支援・国際理解・環境・地域など幅広いジャンルのボランティアをご紹介します。一緒にボランティアを探しましょう！

また私たちスタッフは、企画書・ポスター・チラシの作成や外部の方との交流も行っています。最近は地域交流や子ども関連のボランティアに特に力を入れ、楽しく日々活動しています。

学生ボランティア活動支援室について

開室時間：月～金曜日 10時～17時(13時～14時は昼休み)

活動場所：19号館 305号室(生協横の階段を上った3階です)

※長期休暇中も開室している曜日があります。詳細は学内掲示・Twitterでお知らせします。

《メールアドレス》 vol-center@kanagawa-u.ac.jp

《HP》 http://www.kanagawa-u.ac.jp/volunteer_support/

《Twitter》 <http://twitter.com/volstaff/>

▶Twitter QRコード▶



利用の仕方

学生ボランティア活動支援室について少しわかってもらえたところで、次に利用方法について説明します。

ボラ室へ行こう！



相談しよう！



申し込み



ボランティア活動へ



ボランティアに興味がある。でも、どうしたら？その際は、学生ボランティア活動支援室（19号館3-305）へ行きましょう。

福祉・子ども支援・国際理解・環境・地域などさまざまなボランティアがあります。
スタッフに相談して、自分のやってみたいボランティアを探しましょう。

やりたいボランティアが決まったら申し込みです。学生スタッフと一緒に手続きをしましょう。
活動中に怪我などがあった時のために**ボランティア保険（約300円）**に加入していただく場合があります。

いよいよ活動です。
皆さん怪我のないよう気をつけて、ボランティア活動への第一歩を踏み出しましょう。

学生ボランティア活動支援室の利用の仕方はわかっていただけましたか？
興味を持たれた方は、ぜひ気軽に来室してください！

まち×学生

まち×学生 プロジェクトとは？



オレンジプロジェクトステッカーを作成

突然ですが質問です。六角橋地域の方と日常的な挨拶や会話をする神大生はどのくらいいるのでしょうか？地方から出てきて大学周辺に住んでいる学生でも、地域の方と交流できている人は少ないと思います。

そこで生まれたのが『まち×学生プロジェクト』です。六角橋を、「卒業しても戻ってきたいまち」にする大きな目標に向かって、学生と地域が協力して企画・運営をしています。



六角橋商店街の街並み



班対抗クイズ大会！



フラメンコやバンドの演奏♪地域の方々のコーラス、
小学生の発表もともに楽しみました



みんなでうちわ作り♪

六角橋地域住民の方々と本学学生による交流イベントです！

2回目となる今年度はうちわ作りを中心に、交流を深めました！また、学生と地域の双方からフラメンコやコーラスなど普段の活動成果を発表する場を設け、お互いを知るきっかけを作ることができました！

ろくしんさい
六神祭とは？…六角橋の“六”,神奈川大学の“神”,祭りの“祭”の略称です！

六神祭

2017年8月2日



全員で記念撮影

プロジェクト

2017年7月7日
神大マルシェ



七夕にちなみ願いをこめて



皆で楽しく会場装飾！



神奈川大学のマスコット
JIN ちゃんと KANA ちゃん

神奈川区の野菜、和菓子、手作りの物品販売など『地産地消』をテーマとした神大マルシェを開催しました！当日は約 500 人の来場者があり、地域の人や学生で大いに賑わいました！多くの方の笑顔を見ることが出来る地域交流イベントになりました！



神奈川区産の新鮮野菜はあっという間に完売！



お年寄りにやさしい街を目指す六角橋商店街！



毎年9月の第3月曜日の敬老の日より、世界アルツハイマーの期間にて、『お年寄りにやさしい街』をテーマとしたイベントを開催しています。2017年度は六角橋商店街を認知症啓発活動のテーマカラーであるオレンジ色に染める活動を行いました。「豊かな心」を目的にし、これからも活動していきます。この活動は神奈川大学課外活動団体 GLOBAL☆YEN☆LEAP と協力しています。



オレンジプロジェクト

2017年9月18日～21日

2017年度 ボランティア活動内容

8月 夏合宿



8月23日～25日に神奈川大学・富士見高原研修所にて2泊3日の合宿を行いました。内容としては、すごろくを使ったアイスブレイクや一般学生が相談に来た時を想定したシミュレーション、紙芝居を使用する(KP)法で学生ボランティア活動支援室の魅力を紹介するプレゼンテーションを行いました。また、夜のバーベキューや天体観測などのレクリエーションを行い、スタッフで交流することもできました。

5月～11月 文房具ボランティア



使わなくなった文房具を回収し、NGO団体を通して海外の子どもたちに届けるボランティアです。今年度は海外ボランティア企画と連動し、実際に現地へ赴き自分たちの手で子どもたちに文房具を届ける予定です。学内に回収箱を設置しているため多くの一般学生に参加してもらえる企画となっています。今年度は2412個集まりました！

10月 大学祭



10月28日～29日に横浜キャンパスで行われた大学祭にて、「vola's kitchen」(ボラズ キッチン)の看板を出しボラ室として初めて食品販売を行いました。「まち×学生プロジェクト」で培った“地産地消”をテーマに地元神奈川区の野菜を使ったミネストローネとクリームシチューを販売し、付け合わせのパンは大学周辺の「ル・ミトロン」さんから仕入れられました。

7月・12月・2月 他大学交流会



12月2～3日で横浜市立大学・フェリス女学院大学・神奈川大学の協同での他大学交流(フォーラム)を行いました。「ボランティア団体に共通」するいくつかのテーマ等を用意し、参加学生を班に分け、テーマを振り分け議論しました。初日は模造紙を使用しての中間発表、2日目は1日目の内容をより深く討議したものをパワーポイントにまとめて最終発表を行いました。

2月 海外ボランティア(カンボジア)



昨年度の2月中旬に10日間カンボジアを訪れました。日本文化を伝えるために着物の着付け体験や日本の紙芝居、コマやけん玉などの日本伝統の遊び、また雛祭りが近かったためお雛様カード作りをしました。コミュニケーションにはジェスチャーと少し覚えたクメール語を使いました。他にも鬼ごっこやサッカー、バレーなどのスポーツを行いました。

&参加者からひとこと

学生ボランティア活動に関わるワークショップや、KP法(紙芝居プレゼンテーション)を行ったことで学生ボランティア活動支援室の今後のあり方と目標について改めて考える好機となりました。また、バーベキューや天体観測を通して、スタッフ同士の絆を深めることもでき、有意義な合宿になりました。

KP法のテーマは「あなたの団体に入りたいと思わせるプレゼン」でした。一般の学生に“ボランティアに興味を持ってもらうためにはどうすれば良いか”で、ボランティアの新しい魅力を発見することができました。



現代ビジネス学科 1年 三輪 将大

この活動は発展途上国の子どもの学力改善を目的に行っています。文房具の寄付は教職員の方や一般学生でも参加しやすいと思うため、この活動を通してボランティア活動を身近に感じてもらえたと思います。回収するごとに増える文房具を見て、多くの方々に協力していただけていることが分かり、やりがいを感じられました。

また昨年度に比べ、集まった文房具が900個ほど増えました。これからも活動を継続して、より多く集められるよう周知をしていきたいです。



経済学科 2年 長谷川 奈央

学生ボランティア活動支援室として初めて学園祭にて食品販売を行いました。1日目で目標だった300食の販売を達成しました。2日目は雨で中止になってしまいましたが、お世話になった地域の方と残りの食材を使ってシチューを作りおいしくいただきました。

7月の神大マルシェに来て下さった地域の方にもたくさんご来場いただきとても嬉しかったです。飲食店グランプリでは、学生の雰囲気と販売物の部門で3位に入賞できました。これからもおいしい地元神奈川区の野菜をもっと広めていきたいと思います。



法律学科 2年 内海 拓哉

同じ活動を志す他大学の考え方が分かり、学生ボランティア活動支援室の仕組みについて、改めて見直すきっかけとなりました。

私の班では「一般学生が継続してボランティアに参加してもらうには」がテーマでした。結論として、ボランティアを紹介するボランティアの内容を、ゼミなどの団体と個人の参加者で変えることを導き、内容を掘り下げた議論ができました。また、他大学の仲間とゆっくり話すことができ、交流を深めることが出来ました。

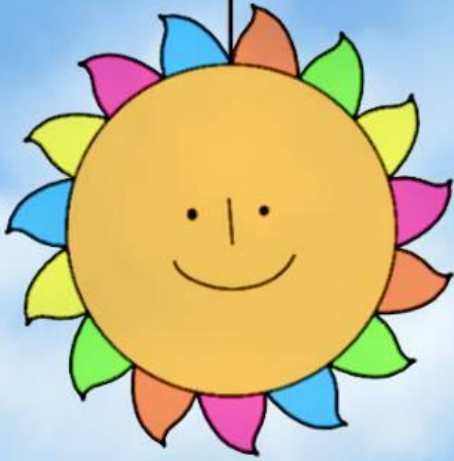


経済学科 2年 岩崎 海斗

私たちは国際交流を通して、海外への理解を深めるきっかけとなりました。私自身初めての海外渡航ということもあり、体調が優れないこともありましたが、「子どもたちの手助けをしたい！」という熱い思いを持った仲間の協力もあり、やり抜くことができました。また現地の学校運営を行う先生の指導の下、運動会のサポートや子どもたちとの交流を通して、挑戦することの大切さを再認識できました。



自治行政学科 2年 川俣 雄平



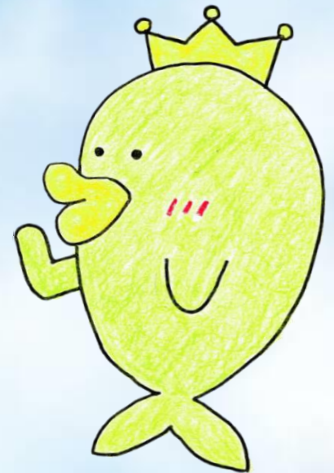
学生ボランティア活動支援室代表のあいさつ



学生ボランティア活動支援室（以下ボラ室）学生代表の小倉です。団体名を聞くと固いイメージを持つかもしれませんが、ボラ室はとても楽しく、居心地の良いところです。私たち大学生というのは、勉強やアルバイト、部活など選択肢が非常に多い時期です。それぞれが自らの大学生活を充実させるための選択肢としてボランティアがあっても良いのではないかと考えています。私たちと一緒にあなたもボランティアで大学生活を豊かにしてみませんか。ボラ室でお待ちしております。

ボラちゃんの誕生秘話

ボランティアと聞いて多くの人は自分とは縁のないものだと思っているのではないのでしょうか。しかし、ボラ室に入っている学生に聞いてみると、「なんとなく」「友達がいたから」という理由も多々あります。このイメージを伝えるために、ボラちゃんが誕生しました。魚の「ボラ」と「ティアラ」で、「ボラティアラ＝ボランティア」というのが由来になっています。チャームポイントは「丸い形、短い手、つぶらな瞳に大胆な唇」です！ボラちゃんがボランティアのイメージを変えてくれることを期待しています。みなさんに気に入ってもらえると嬉しいです。



広報誌担当

法学部 2年次	川俣雄平
法学部 1年次	石井琢朗
経済学部 2年次	長谷川奈央
経済学部 1年次	近藤拓弥
経済学部 1年次	三輪将大
経済学部 1年次	宍田美奈
外国語学部 1年次	佐藤はるな
工学部 1年次	田中翼

【発行日】2018年3月1日

【発行】神奈川大学 横浜キャンパス

学生ボランティア活動支援室 19号館 305号室

TEL：045-481-5661(内線 4440)

FAX：045-481-2736